



令和元年度
事業報告

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

I LOVE IWATE

岩手県国際交流協会

「令和元年度事業報告」目次

< 概要 >	1
< 事業活動 >	
1 地域に根ざした国際理解・交流の推進	3
2 多文化共生の地域づくり	10
3 次代を担う人づくり	17
< 管理部門 >	
1 評議員会・理事会等の開催状況	22
2 業務執行体制等	23
(1) 職員の状況	23
(2) コンプライアンス体制及び職員研修	23
(3) JICA 国際協力推進員の配置	23
3 寄附金及び賛助会員の状況	23
(1) 寄附金の受入れ	23
(2) 賛助会員の入退会	23

令和元年度事業報告

<概 要>

2019(令和元)年度は、協会が30周年という大きな節目を迎えるとともに、新たに策定した長期計画「～外国人県民と共につくる明るい未来～いわてビジョン2019」がスタートした年度だった。

いわてビジョン2019に基づき、10年後の目指す将来像を実現するため、「地域に根ざした国際理解・交流の推進」、「多文化共生の地域づくり」、「次代を担う人づくり」の3つの柱に沿って各種事業に取り組み、本県における国際交流・協力・多文化共生の推進に努めた。

<目指す将来像>

- ◆ 同じ地域の構成員として、日本人県民と外国人県民等が、個々の力を発揮し、互いに尊重し合い、共に快適で住み心地のよい岩手が築かれている。
- ◆ 県全体で多文化共生の理解と体制づくりが進み、県内各地域において、外国人県民等が必要な支援を受けられている。
- ◆ 国際交流や多文化理解等を通じてグローバルな視点を持った岩手と世界をつなぐ人材が育ち、活気ある岩手の地域づくりに貢献している。

また、10年後の将来像を実現していくためには、新たな環境に対応しながら、長期的な視点に立ち先導的な取組を進めていくことが重要であるため、新しい国際交流環境に対応した6つのプロジェクトを掲げ各種事業に取り組んだ。

<プロジェクト>

- 1 働く外国人支援プロジェクト
- 2 多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト
- 3 グローカル人材育成プロジェクト
- 4 外国人留学生等就職活動支援プロジェクト
- 5 ILC支援プロジェクト
- 6 協会設立30周年記念プロジェクト

特に、この長期ビジョンの初年度である2019(令和元)年度においては、大船渡市と一関市に新たな国際交流協会が設立されたことにより県内全市に国際交流協会が設立されたほか、平成31年4月に施行された改正出入国管理及び難民認定法に伴い、企業アンケート調査等により外国人労働者の雇用実態や支援ニーズの把握に取り組んだ。

また、新たな在留資格により増加が見込まれる在住外国人への対応を図るため、災害時における多言語サポーター育成のための研修の実施、外国人患者受入に資するための研修やセミナーの開催など、外国人受入れの基盤となる体制の整備促進に努めた。

さらに、県内各地域で若い世代と留学生等と一緒にグローバル化に対応した地域活性化について考えるワークショップを開催したほか、海外留学への意識高揚を図るための

講座の開催や「いわてグローバル人材育成推進協議会」として、大学生等の海外留学支援事業や外国人留学生等の高度人材の県内就職を支援する取組を実施するなど、若年人材の育成に重点的に取り組んだ。

3つの柱と6つのプロジェクトにおける主な事業実施の概要は、次のとおりである。

1 「地域に根ざした国際理解・交流の推進」

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○グローバル人材育成プロジェクト

○協会設立30周年記念プロジェクト

県の国際交流センターの管理運営を受託し、アイーナ入居団体や在住外国人等との連携による交流イベントや語学コーナーの定期的な実施や様々なテーマでの企画展示など、センター利用者の拡大に努めた。

市町村及び市町村国際交流協会との連携推進を図るため、会議や「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」を通じた情報交換や人材を育成する研修、“グローバル人材育成プロジェクト”として共催事業などを実施した。

また、市町村及び県内の国際交流団体等が行う取組へ、在住外国人等を講師等として紹介するほか、ホームステイを通じた国際交流の推進など、県内全体における国際化の促進に努めた。

協会設立30周年記念プロジェクトの主な事業実施の概要は、設立30周年を記念して、協会への支援・協力を感謝するとともに更なる発展を期するため、協会の30年の軌跡をまとめた記念誌の制作や協会に貢献した団体・個人への表彰、記念講演会、交流会を開催した。

2 多文化共生の地域づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○働く外国人支援プロジェクト、

○多文化共生の地域づくり(ダイバーシティ)プロジェクト

外国人との交流会や「2019 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」において、「世界はともだち ノーサイド」をテーマに、各国のアクティビティやカフェ・ランチの体験を通じて相互理解を図る機会を設けたほか、「盛岡さんさ踊り」への参加や「世界フェアトレード・デー」の実施により国際交流・国際協力の啓発普及に努めた。

また、外国人と共生するまちづくりをテーマに多文化共生地域づくりセミナーやワークショップを開催し、地域の国際化を考える契機とした。

令和元年12月には「いわて外国人県民相談・支援センター」の管理運営も受託し、外国人相談ブースの新設や県内企業等を訪問しての相談対応など、外国人労働者等の相談・支援の取り組みを進めた。

このほか、技能実習生や外国人観光客の増加などに伴い多様化する外国人ニーズへの対応として、日本語学習支援者の指導力の向上を目的とした「いわて日本語学習コンテンツ」の作成準備を進めたほか、災害時に多言語支援を行うサポーターの育成研修や実践訓練、医療機関等での外国人患者受入がスムーズに行われるよう医療通訳タブレットの試行導入

や研修会、セミナーの開催を行うとともに、外国人労働者の受入体制整備のため海外及び県内において実態調査を実施した。

3 次代を担う人づくり

〈長期ビジョン関連プロジェクト〉

○グローバル人材育成プロジェクト

○外国人留学生等就職活動支援プロジェクト

世界とのかけはしとなる人材育成支援事業として「いわて青年国際塾」を高校生や大学生など若い世代を対象にワークショップ形式で開催し、意識の高揚を図った。

また、「いわてグローバル人材育成推進協議会」として、県内の大学生等8名の海外留学の支援や外国人青年や外国人留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するキャリアフェアやインターンシップ、企業訪問など、本県のグローバル化を担う若い人材の育成に重点的に取り組んだ。

＜事業活動＞

1 地域に根ざした国際理解・交流の推進

注)各施策の番号は“いわてビジョン 2019”の施策番号に対応。

①施策 1-1 地域国際化人材育成研修の実施（県委託）

地域の国際化、多文化共生を担う人材を育成するため、市町村及び市町村国際交流協会職員等を対象に、国際交流・多文化共生の現状と課題、外国人に関わる諸制度等、国際交流・多文化共生に係る基礎的知識について学ぶ研修会を開催した。

回	テ ー マ	講師
第 1 回	講義 1 県内外国人の状況について	県国際交流協会
	講義 2 改正入管法と外国人材の受入拡大について	行政書士 横山 勝 氏
	講義 3 ILC 誘致がもたらす波及効果と外国人研究者等の受入体制の構築について	県国際室・県 I L C 推進室
第 2 回	講義 4 技能実習生に着目した多文化共生の地域づくり ～宮城の取組から～	(公財)宮城県国際化協会 大泉貴広 氏
	講義 5 やさしい日本語	盛岡大学 嶺岸玲子 氏

実施状況

地域	第 1 回		第 2 回	
	開催日・会場	参加者	開催日・会場	参加者
県央広域振興圏	令和元年 7 月 2 日 (火) アイーナ 会議室 501B	22 人	令和元年 7 月 23 日 (火) アイーナ 602 会議室	23 人
県南広域振興圏	令和元年 7 月 4 日 (木) 北上地区合同庁舎第 2 会議室	12 人	令和元年 7 月 24 日 (水) 北上地区合同庁舎第 1 会議室	16 人
沿岸広域振興圏	令和元年 7 月 9 日 (火) 大船渡地区合同庁舎大会議室	13 人	令和元年 7 月 30 日 (火) 大船渡地区合同庁舎第 2 会議室	15 人
県北広域振興圏	令和元年 7 月 11 日 (木) 二戸地区合同庁舎 4D 会議室	10 人	令和元年 7 月 29 日 (月) 二戸地区合同庁舎第 2 会議室	9 人

②施策 1-2 地域国際化推進会議の開催（県委託）

地域における国際化及び多文化共生推進の必要性という視点を共有するとともに相互の連携を強化することを目的として開催した。

地域	期日等	
県央広域振興圏	期 日	平成 31 年 4 月 26 日 (金)
	会 場	アイーナ 5 階 501 会議室
	参加者	5 市町 7 協会 27 人

県南広域振興圏	期 日	平成 31 年 4 月 23 日（火）
	会 場	奥州地区合同庁舎 分庁舎 3 階 大会議室
	参加者	8 市町 6 協会 30 人
沿岸広域振興圏	期 日	令和元年 5 月 10 日（金）
	会 場	釜石地区合同庁舎 4 階 大会議室
	参加者	6 市町 3 協会 22 人
県北広域振興圏	期 日	平成 31 年 4 月 24 日（水）
	会 場	久慈地区合同庁舎 6 階 大会議室
	参加者	5 市町村 4 協会 23 人

③施策 2-1（施策 15） いわて国際化人材の登録・活用

在住外国人や海外経験のある方々、通訳や翻訳に対応できる方々等の登録を行い、講師紹介の依頼があった際に紹介を行った。

- ・登録者 個人 270 人、団体 3 団体、依頼件数 84 件、活用件数 60 件
（前年度 個人 250 人、団体 3 団体、依頼件数 79 件、活用件数 61 件）

④施策 2-2 ホストファミリーの登録・活用

ア ホストファミリーの登録・活用

ホストファミリーの登録を行い、ホームステイの依頼に応じて活用を促進した。

- ・登録者 80 家庭、活用 1 件（16 家庭）（前年度 14 家庭 4 件）

⑤施策 3-1（施策 13、14、16、22） 多言語ホームページによる情報提供

ホームページやブログ、フェイスブック、ツイッターを通じて日本語、英語及び中国語で各種情報提供を行った。

- ・ホームページの来訪者数 276,872 件（前年度 179,281 件）*トップページアクセス数

⑥施策 3-2 多言語の国際交流情報紙の発行

日本語、英語及び中国語の国際交流情報紙を年 6 回発行した。

- ・発行部数 4,000 部/回 合計 24,000 部



⑦施策 3-3 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

外国語も含めた蔵書やビデオ・DVD の教材等、国際交流関連の情報の収集・提供を行った。

- ・蔵書等のデータベース登録 8,495 冊（前年度 7,013 冊）
- ・資料収集国 190 か国（前年度 190 か国）
- ・国別ボックス 30 箱/57 か国（前年度 30 箱/56 か国）
- ・民族衣装 25 か国/68 セット（前年度 23 か国/63 セット）

⑧施策 3-4 いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの開設（県補助）

ア いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンクの開設

県内各地で国際交流・国際協力、多文化共生の効果的・効率的な取組を進めるための情報の共有や活用を図るリソースバンクのリニューアルを行った。検索機能を付加し、前年度の情報掲載以降の県内各市町村・市町村国際交流協会等の情報ファイルを追加掲載した。

掲載サイト

<https://www.iwate-resource-bank.jp/>



⑨施策 4-1 国際交流センターの運営（県委託等）

岩手県から委託を受けて、国際交流センターにスタッフ 6 名及び外国人相談専門員 4 名を配置し、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する相談や生活支援のほか、国際交流の拠点施設としてセンター利用者への対応等を行った。

- ・ 来館者数 172,520 人 (前年度 160,515 人)
- ・ インターネット利用者数 1,676 人 (前年度 1,746 人)
- ・ 情報提供件数 2,357 件 (前年度 2,130 件)

⑩施策 4-2 国際交流センター内の企画展示

展示コーナーを活用し、年間を通じて時宜をとらえた各種企画展示を行った。

	期 間	テーマ
1	4 月 15 日～5 月 31 日	世界とつながるフェアトレード&国際協力
2	4 月 15 日～5 月 31 日	「令和」企画展
3	6 月 10 日～8 月 31 日	醇美雲南
4	7 月 2 日～7 月 31 日	JICA 海外協力隊活動紹介展示
5	9 月 2 日～11 月 6 日	ラグビーワールドカップ展
6	11 月 7 日～12 月 10 日	協会設立 30 周年記念展
7	12 月 26 日～2 月 11 日	「見てみよう！一緒に学ぼう！世界の教室」展
8	1 月 22 日～2 月 21 日	「第 9 回いわてマンガ大賞」コンテスト応募作品展示
9	2 月 16 日～4 月 17 日	「世界をもっと知ろう！」展

⑪施策 5-1 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流関係団体の活動活発化に向けた意見交換、情報交換を行った。

ア 第1回

- ・開催日 令和元年8月27日(火)
- ・会場 マリオス183、184会議室
- ・内容 令和元年度岩手県国際交流協会事業概要説明及び設立30周年記念事業、「2019ワン・ワールド・フェスタ in いわて」に係る協議
- ・参加者 32団体40人（前年度19団体26人）

イ 第2回

- ・開催日 令和2年2月28日(金)
- ・会場 マリオス183、184、185会議室
- ・内容 令和2年度岩手県国際交流協会予定事業説明及び各団体の活動状況等に係る意見交換
- ・参加者 28団体32人（前年度37団体48人）

国際交流関係団体連絡会議登録団体数 124団体（前年度133団体）

分野	団体数
国際理解	17
国際協力	8
日本語教室	6
青少年	13
学校・教育・文化・スポーツ	16
経済・観光	7
二カ国間交流	28
市町村・一般	29

⑫施策 5-2 国際交流関係団体等の活動支援助成

県内の国際交流団体等及び市町村国際交流協会が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動や事業に要する経費の一部を助成した。

ア 国際交流団体等

- ・助成数 4件、助成総額400千円（前年度 3件、300千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
映画「ブランカとギター弾き」	岩手県ユニセフ協会	100,000円 (251,520円)
国際交流事業「KAKEHASHI」 (台湾中学生受入事業)	(一社)盛岡青年会議所	100,000円 (284,863円)
第29回外国人による日本語スピーチコンテスト	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	100,000円 (396,808円)

第13回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展	盛岡ユネスコ協会	100,000円 (766,241円)
-----------------------------	----------	------------------------

イ 市町村国際交流協会

・助成数 5件、助成総額 500千円（前年度 6件、〃 584千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
日本語ボランティア養成講座	(一財)遠野市教育文化振興財団	100,000円 (139,404円)
一戸町国際交流協会設立20周年記念事業	一戸町国際交流協会	100,000円 (729,883円)
ラテンミュージック・フェスタ IN 金ケ崎	金ケ崎町国際交流協会	100,000円 (486,613円)
北上市・コンコルド市姉妹都市提携45周年記念友好訪問団歓迎「市民パーティ」	(一社)北上市国際交流協会	100,000円 (1,251,048円)
通訳ボランティア養成講座	釜石市国際交流協会	100,000円 (133,326円)

ウ 日本語教室

・助成数 7件、助成総額 560千円（前年度 5件、〃 400千円）

事業名	主催団体	助成額 (総事業費)
日本語教室	(一財)遠野市教育文化振興財団	80,000円 (122,200円)
岩手町国際交流協会日本語サロン	(特非)岩手町国際交流協会	80,000円 (138,973円)
外国人のための日本語教室	陸前高田市国際交流協会	80,000円 (168,000円)
日本語交流室「じょい」日本語指導	日本語交流室「じょい」	80,000円 (121,296円)
“多文化共生の社会づくり醸成のため”の「日本語教室」開催事業	川崎21世紀国際交流クラブ	80,000円 (164,235円)
日本語教室「いっぽいっぽ」運営事業	日本語教室「いっぽいっぽ」	80,000円 (137,775円)
日本語教室	一関国際交流協会	80,000円 (100,500円)

⑬施策6(施策29-2) 国際交流関係団体等との共催事業の実施

ア 海外青少年招聘事業

『震災からの復興』と『ラグビー』を活用した国際友好交流促進、高校生同士の交流経験を通じたグローバル人材の育成、ワールドカップ大会後のスポーツ交流人口拡大に向けたホームステイ、民泊のインフラモデルの造成と釜石鶴住居復興スタジアム活用等を目的としてニュージーランド カシミア高校ラグビー部U-16の高校生を岩手県に招聘して国際交流、文化交流、ラグビー交流を関係団体等との共催により実施した。

(ア) 共催等

釜石市、北上市、八幡平市、岩手県教育委員会、(公財)岩手県体育協会、岩手県高等学校体育連盟ラグビー専門部、(一社)岩手県ラグビーフットボール協会、(株)かまいしDMC、釜石市国際交流協会 (一社)北上市国際交流協会

(イ) 招聘高校及び人数

ニュージーランド カシミア高校
ラグビー部 (U-16) 選抜選手
20名とコーチ2名



(ウ) 日程

令和元年9月28日(土)～
10月5日(土) 7泊8日

(エ) 訪問先等

学校訪問：釜石高校、黒沢尻北高校、黒沢尻工業高校

ラグビー交流：

- ・交流試合：岩手県U-17次期国体選抜チーム
- ・合同練習、ミニゲーム：釜石高校、釜石商工高校、黒沢尻北高校、黒沢尻工業高校

⑭施策7 協会設立30周年記念事業の実施

協会設立30周年の節目に、記念式典・表彰、記念講演、交流パーティ、30周年記念誌の作成、イメージキャラクターの制作などを行った。

ア 開催日時 令和元年11月4日(土) 14:00～20:00

イ 会場 いわて県民情報交流センター(アイーナ) 7階 小田島組☆ほ～る、
8階会議室804

ウ 参加者数 延べ233人

エ 記念式典・表彰

- ・時間 15:00～15:40
- ・会場 7階小田島組☆ほ～る
- ・内容

祝辞 岩手県知事 達増拓也氏、
岩手県議会議長 関根敏伸氏、
岩手県市長会会長 谷藤裕明氏、
(一財)自治体国際化協会理事長 岡本 保氏



協会理事長表彰

(敬称略)

後藤康文	むろね国際交流クラブ
はなまき日本語サポーターズ「ステップ」	東山国際交流協会
日本語教室「いっぽいっぽ」	川崎21世紀国際交流クラブ
雫石町国際交流協会	藤沢町国際交流協会
洋野町国際交流協会	ゆうの会
一関国際交流協会	

協会貢献者表彰

(敬称略)

(故)村井テイ子	坂下陽市
宮 順子	上原千鶴子
大畑佳代子	佐々木匡人
伊藤友子	松岡洋子
安藤 厚	高橋 耕
平山健一	望月善治
齋藤哲子	(故)鈴木 修

オ 交流パーティ

時間 17:30~19:00

会場 8階会議室 804

内容 立食による世界の食文化を楽しむ懇親会

在住外国人などによるパフォーマンス

インドネシア民族舞踏：アベ・アユ・イスカンダール 氏

カポエイラ：カポエイラ・ヘジョナル・ジャパン岩手

ロシア民族舞踏：吉田アレクサンドラ氏

カ 30周年記念誌の作成

作成部数 1,500部

編集委員 高橋宏昇 氏、鈴木いづみ 氏

キ イメージキャラクターの制作

名称 あーすん

デザイン 小笠原 雄大 氏(OGA GRAPHICS 代表)



2 多文化共生の地域づくり

①施策 8-1 外国人との交流会の開催

県国際交流員や留学生、在住外国人等との協働企画により、定期的に外国人との交流会や、英語、中国語、スペイン語の各言語コーナーを開設し、参加者の拡大に努めた。

- ・開催回数 26 回、参加者 延べ 1,310 人
(前年度 33 回、参加者 延べ 1,410 人)

《内訳》

外国人との交流会 開催回数 6 回、参加者 延べ 1001 人
 語学コーナー 英語 (9 回)、中国語 (5 回)、スペイン語 (6 回)、
 参加者延べ 309 人



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月に実施予定だった英語コーナー、中国語コーナーは中止にした。

開催日		テーマ	参加人数
1	平成 31 年 4 月 6 日 (土) ほか	英語コーナー	173 人
2	平成 31 年 4 月 20 日 (土)	オランダから Hallo	40 人
3	令和元年 6 月 13 日 (土) ほか	スペイン語コーナー	57 人
4	令和元年 7 月 11 日 (土) ほか	中国語コーナー	79 人
5	令和元年 7 月 15 日 (土)	小さな国、大きなハート エルサルバドル	34 人
6	令和元年 8 月 20 日 (土)	中国雲南省 Kids in いわて 2019	46 人
7	令和元年 10 月 14 日 (月・祝)	キッズ・カーニバル	801 人
8	令和元年 12 月 21 日 (土)	クリスマス クッキーデコレーション	45 人
9	令和 2 年 2 月 15 日 (土)	アジアの魅力再発見!! ベトナム・インドネシア編	35 人
合 計			1,310 人

②施策 8-2 「2019 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催

在住外国人を含むボランティアや国際交流関係団体等と連携・協働して国際交流・国際協力、多文化共生について、広く県民に啓発普及を図る「2019 ワン・ワールド・フェスタ in いわて」をアイーナ (盛岡市) で開催した。

- ・開催日 令和元年 11 月 4 日 (月・祝)
- ・会場 国際交流センター他
- ・参加 3,952 人 (前年度 6,972 人)
- ・テーマ 世界はともだち “ノーサイド!”



- ・プログラム ワールドエリア、キッズコーナー、カフェ&ランチ、関係団体展示、ラグビーW杯展示、スタンプラリー、ワークショップ（JICA 東北主催）、外国人相談ほか
- ・協賛等 いわてウインターリゾート協議会



③施策 8-3 盛岡さんさ踊りへの参加

- ・参加日 令和元年8月3日（土）
- ・参加者 122人（うち外国人 35人[13か国]）
（前年度 154人（うち外国人 76人[17か国]））

④施策 9-1 多文化共生地域づくりセミナーの実施（県委託）

県民が外国人の多様性について認識を深め、外国人と共生するまちづくりについて考える契機とするためのセミナーを開催した。

- ・開催日 令和元年12月6日（金）
- ・会場 岩手大学北桐ホール
- ・演題 「外国人が選ぶまちの姿」
- ・講師 2020年ドバイ国際博覧会日本政府代表
日本貿易振興機構（ジェトロ）参与
中村 富安 氏
- ・参加者 53人



⑤施策 9-2 いわてグローバル・カレッジの開催

グローバルな視点から岩手の国際化や多文化共生について理解を深めるための講演会を開催した。

- ・開催日 令和2年2月28日（金）
- ・会場 マリオス18階 183～185会議室
- ・演題 「地域で暮らす外国人県民との共生に向けて
～浜松市の取組から～」
- ・講師 （一社）グローバル人財サポート浜松 代表理事 堀 永乃 氏
- ・参加者 63人



⑥施策 9-3 「2019世界フェアトレード・デーinいわて」の実施

- ・テーマ 「あなたの支援のその先は？」
- ・開催日 令和元年5月11日（土）
- ・会場 国際交流センター内ほか
- ・共催 国際協力機構（JICA）東北支部、
環境学習交流センター
- ・内容 ミニワークショップ「支援って何？」
（ファシリテーター 安保訓子 氏）
映画「ポバティール・インク」上映
- ・参加者 44人



⑦施策 10 多文化共生地域づくりワークショップの実施（県委託）

外国人の視点から、地域が持つ新たな魅力を創出し、地域の活性化につなげていくため、地域づくりに関心のある方々を対象として、外国人とともに地域の国際化や多文化共生を切り口としたワークショップを開催し、そこで得られたアイデア等をまちづくりや地域活性化につなげていくことを目的として実施した。

実施状況

地域	共催	期日等	第 1 回	写真
盛岡市	MORIOKA 5STAR	期 日	令和元年 11 月 24 日(日)	
		場 所	盛岡市内	
		参加者	19 名	
		内 容	さらなる外国人観光客誘致に向けた市内商業施設の改善案についてのディスカッション	
大船渡市	大船渡市	期 日	令和 2 年 2 月 9 日(日)	
		場 所	大船渡市内	
		参加者	15 名	
		内 容	外国人観光客向けの観光コースの改善案についてのディスカッション	
西和賀町	西和賀町	期 日	令和 2 年 2 月 29 日(土)	
		場 所	西和賀町 雪国文化研究所・沢内バーデン	
		参加者	18 名	
		内 容	雪体験（かんじき体験）や西和賀の食材についてのディスカッション	
盛岡市	盛岡市	期 日	令和 2 年 3 月 6 日（金）実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響で中止	
		場 所		
		参加者		
		内 容		

⑧施策 11 日本語学習支援推進「いわて日本語学習コンテンツ(仮称)」の作成と活用

コンテンツ作成に向け、有識者を招いた検討会議を 6 回実施した。

〔検討会議〕

- ・ 第 1 回 令和元年 7 月 11 日（木）
- ・ 第 2 回 令和元年 8 月 23 日（金）
- ・ 第 3 回 令和元年 9 月 11 日（金）
- ・ 第 4 回 令和元年 9 月 24 日（火）
- ・ 第 5 回 令和元年 12 月 10 日（火）
- ・ 第 6 回 令和 2 年 2 月 3 日（月）

〔参集者〕 岩手大学 教授 松岡洋子 氏、盛岡大学 准教授 嶺岸玲子 氏
 (第 3 回～) 桂静子 氏
 (第 6 回～) 坂本テイ子 氏、熱海アイ子 氏、小向博子 氏

⑨施策 12(施策 20) 日本語サポーターの登録・育成と活用

ア 日本語サポーターの登録と活用

日本語サポーターの登録と活用により、在住外国人のニーズに対応した日本語学習を支援した。

- ・登録者 140 人（前年度 124 人）
- ・活用 依頼件数 71 件、成立 56 件（前年度：依頼件数 62 件、成立 48 件）

イ 日本語サポーターと学習者との交流会の開催

日本語学習者と日本語サポーターが気軽に交流でき、日本語サポーター同士での情報交換もできる場を提供した。

- ・アドバイザー 上野法律ビジネス専門学校日本語学科非常勤講師 土井 夏樹 氏
- ・開催日 令和元年 9 月 28 日（土）
- ・会場 語学学習コーナー
- ・参加者数 17 人

⑩施策 17 外国人相談の実施 ・ いわて外国人県民相談・支援センターの運営(県委託)

国際交流センターの機能の一つである「外国人相談」について、令和元年 12 月より「いわて外国人県民相談・支援センター」として運営を県より受託し、職員や中国人、韓国人、フィリピン人等英語圏対応及びベトナム人の各外国人相談専門員、国際交流補助員等で日常的な相談に対応した。

ア 相談窓口の設置

相談窓口において生活上の問題をはじめとして幅広い相談への対応のほか、留学生等の生活支援にも対応した。

- ・相談件数 383 件（前年度 382 件）（相談専門員による相談、地域巡回相談、外国人専門相談員における相談件数を含む。）

(相談内容の内訳)

年度	日本語学習	住居	教育	医療・保健・福祉	行政手続	その他
平成 29 年度	26	4	23	54	235	102
平成 30 年度	14	4	10	8	220	126
令和元年度	8	15	14	64	167	115

イ 相談専門員等の配置

- ・相談マネージャー(岩手県行政書士会より派遣)
月曜日・水曜日・金曜日 13:00~17:00
- ・外国人相談専門員(中国語、1人)
日曜日 12:30~17:30、月曜日・火曜日・金曜日 13:00~17:30
- ・外国人相談専門員(韓国語、1人) 第3水曜日 14:00~16:00
- ・外国人相談専門員(英語、1人) 水曜日 14:00~16:00
- ・外国人相談専門員(ベトナム語、1人) 土曜日 14:00~16:00

⑪施策 18 地域巡回相談

外国人相談専門員等が各地域を巡回し、地域在住の外国人への相談対応や情報提供を行った。

- ・巡回か所 8か所（前年度 3か所）
- ・相談件数 10件（前年度 31件）

⑫施策 19 外国人定期相談日

岩手県行政書士会と連携し、専門相談に応じるとともに、岩手弁護士会と連携し、無料相談会を開設した。

- ・岩手県行政書士会と連携した相談日
開設数 34回 相談件数 20件（前年度 12回 11件）
- ・岩手弁護士会と連携した相談会
開設数 3回 相談件数 8件

⑬施策 21 外国人患者受入体制構築事業（県補助）

ア 関係団体等との意見交換

医療関係者や関係部局等と外国人患者の受入の取組を進めるため、現状の把握や今後の体制整備に向けた意見交換を実施した。

実施回数 7回

イ 医療機関を対象としたセミナーの開催

他県における先進的な取組事例などを参考に、本県の外国人患者受入れについて考える機会とするためのセミナーを開催した。

- ・外国人の医療支援セミナー

日時：令和元年9月1日(日)13:30～15:00

会場：岩手県釜石地区合同庁舎 大会議室

講師：NTT 東日本関東病院 国際室 副室長 海老原 功 氏

受講者：33名



ウ 遠隔による医療通訳システムの試行

在住外国人及び外国人旅行者が医療機関等を受診する際に、言語面での支援が円滑に図られるよう多言語での同時通訳が可能なタブレット端末を試行導入し、県内での活用について検討した。

(ア) 対象システム

① 医療機関向けコミュニケーション支援サービス MELON(コニカミノルタ)

- ・言語数 10言語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、ロシア語、タガログ語、ネパール語)
- ・借用期間 令和元年8月1日～令和2年1月31日

② 映像通訳サービス(テレコメディア)

- ・言語数 8言語(英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、ロシア語)

・借用期間 令和元年7月1日～令和元年11月30日

(イ) 活用実績 10件

⑭施策23 いわて災害時外国人支援体制の構築

東日本大震災の教訓を踏まえ、災害時における外国人に対応した支援体制を構築するため、災害時の外国人対応等についての研修会、実践訓練を実施し、新たに5名の「災害時多言語サポーター」を認定・登録した。

ア 災害時における外国人支援体制の構築及び外国人の防災意識の醸成

・「やさしい日本語」研修会の実施

講師：地域国際推進アドバイザー 菊池 哲佳 氏

開催日：令和元年7月16日（火）

会場：アイーナ501会議室A

内容：やさしい日本語の必要性やその有効性、具体的な活用例等について

参加者数：23人

・JETプログラム参加者への説明

文科省JETプログラムで招聘された青年に対し、オリエンテーションにて、災害時の対応についての説明を実施。

実施日及び人数 令和元年7月31日（水） 6人

令和元年8月7日（水） 5人

イ 災害時における多言語支援者の育成・登録、防災訓練等の実施

・多言語支援者の登録・育成

災害時多言語サポーター 新規登録者数 5名

（平成28年度からの累計37名）

・災害時多言語サポート基礎研修（災害時支援に必要な基礎を理解する）

開催日：令和元年6月30日（日）

会場：アイーナ803会議室

内容・講師：

講座①「災害時の対応を考える」

岩手県総務部総合防災室

防災危機管理監 西島 敦 氏

講座②「災害時のコミュニケーションを学ぶ」

岩手大学グローバル教育センター教授 松岡 洋子 氏

参加者数：24人

・ブラッシュアップ研修（外国人支援について、実践的に学ぶ）

開催日：令和元年9月14日（土）

会場：釜石市（いのちをつなぐ未来館他）

講師：防災危機管理アドバイザー 越野 修三 氏

岩手大学グローバル教育センター教授 松岡 洋子 氏

内容：基礎研修で東日本大震災での「釜石の奇跡」、「釜石の悲劇」の実例について学んだことから、東日本大震災での教訓を伝える「いのちをつなぐ未来館」を訪問し、当日の状況を体感しながら、ワークショップを行う。



参加者数：14人

・実践訓練の実施

・国民保護共同実働訓練

実施日 令和元年7月11日（木）

実施場所 釜石鶴住居スタジアム及び近隣施設

内容 国際試合中のテロを想定した、外国人観光客の避難訓練

参加者数 11人

・災害時多言語サポート 実践訓練

実施日 令和2年1月19日（日）

場所 アイーナ501会議室

講師 防災危機管理アドバイザー

越野 修三 氏

岩手大学グローバル教育センター教授 松岡 洋子 氏

内容 災害時多言語サポート基礎研修等において得た知識を踏まえながら、図上訓練等を通じて、災害時の活動に関する心構えや具体的知識を得ることを目的に実施。

対象者 多言語サポーターや外国人支援に関心のある方

参加者数 29人



⑮施策25 外国人労働者受入体制推進事業

ア 外国人労働者の増加を想定し、受け入れている外国人労働者の国籍や業種、住環境などの状況を調査し、外国人労働者や受入企業等が抱えるニーズや課題を把握することで、県内各地域での取組方策検討に係る基礎的なデータ収集を実施した。

(ア) 県内調査

① アンケート調査

・調査対象 岩手県内3,000事業所（抽出調査）

・有効回収数（率）1,795事業所（59.8%）

・調査方法 郵送によるアンケート調査

（委託先：㈱東京商工リサーチ盛岡支店）

・調査実施時期 令和元元年7月1日から8月9日

・調査項目 外国人労働者の雇用状況、外国人労働者の日本語学習、地域住民との交流・問題発生時の相談先、外国人労働者の継続雇用、外国人労働者の必要性

② 企業ヒアリング

・実施期間 令和元年11月から令和2年1月まで

・訪問企業数 42企業（4広域圏各10社程度）業種及び地域バランスを考慮し企業を抽出

・主なヒアリング項目 外国人労働者について、どのような受入体制を整備しているか、日本語学習状況、地域との交流状況、監理団体等への要望

(イ) 海外調査

- ・ 調査先 ベトナムハノイ

(選定理由) ベトナム籍の外国人労働者数が県内で一番多いため。

ベトナム籍 1,686 人 (全体の 32.6%) 岩手労働局調「外国人雇用状況」

- ・ 調査期間 令和元年 7 月 25 日 (木)
から 7 月 29 日 (月) 4 泊 5 日

- ・ 出張者 畠山理事長、大山主査、
高橋スタッフ

- ・ 調査先 技能実習生送り出し機関 3 社：
ホアンロン社、MVP 社、LABCO 社

いずれの送り出し機関についても県内監理団体から紹介いただき、調査先として決定。



イ 外国人労働者などとの多文化共生社会の推進について啓発を図ることを目的に労働者として在住する外国人を、「地域住民」として受け入れる社会の構築について考えるセミナーを開催した。

- ・ 開催日時：令和元年 11 月 19 日 (火) 13:30 から 15:30
- ・ 内 容：外国人労働者雇用実態調査中間報告、海外調査報告、
外国人材の受入 ドイツと韓国の状況
- ・ 講 師：岩手大学グローバル教育センター教授 松岡洋子氏
- ・ 出席者数：35 名

3 次代を担う人づくり

① 施策 29-1 世界とのかけはしとなる人材育成支援事業「いわて青年国際塾」の開催

次世代の地域のグローバル化を担う人材育成を推進するため、海外で通用するコミュニケーション方法等を理解し実践する機会を提供した。

ア いわて青年国際塾 in 宮古

- ・開催日 令和元年9月29日(日)
- ・場所 イーストピアみやこ(宮古市)
- ・参加者数 12人
- ・講師 フェリス・ウィリアムさん



イ いわて青年国際塾(アイーナ開催)

- ・開催日 令和元年11月23日(土)、24日(日)
- ・場所 アイーナ会議室501
- ・参加者数 43人
- ・講師 フェリス・ウィリアムさん



② 施策 29-2 職業体験の受入れの実施

県内学校等の依頼に応じ、小学生から大学生までの学生のインターンシップ・プログラムの受入れを行った。

- ・受入実績 19校、194人(前年度 16校、102人)

依頼先	内容	受入期間	日数	人数
北海道登別市西陵中学校	センター紹介、 インタビュー対応	令和元年5月15日	1	6人
盛岡市立厨川小学校	センター紹介	令和元年6月24日	1	81人
盛岡市立青山小学校	センター紹介	令和元年6月28日	1	48人
盛岡市立北松園中学校	センター紹介、 インタビュー対応	令和元年7月2日	1	1人
紫波町立紫波第三中学校	センター紹介、 インタビュー対応	令和元年7月2日	1	2人
盛岡市立土淵中学校	インタビュー対応	令和元年7月4日	1	6人
東北地域大学間連携夏季インターンシップ	インターンシップ	令和元年 8月20日～21日	2	2人
国際室へのインターンシップ学生	センター紹介、 インタビュー対応	令和元年8月21日	1	4人
アールム大学	センター紹介	令和元年8月21日	1	7人
盛岡医療福祉専門学校心理福祉学科	センター紹介	令和元年9月18日	1	8人
岩手県立福岡高等学校	インタビュー対応	令和元年9月29日	1	2人
岩手県立花巻南高等学校	インタビュー対応	令和元年10月5日	1	1人
岩手県立不来方高等学校	インタビュー対応	令和元年10月20日	1	1人

岩手保健医療大学	インタビュー対応	令和元年 11 月 29 日	1	8 人
岩手県立盛岡第一高等学校	インタビュー対応	令和元年 12 月 1 日	1	3 人
盛岡市立仁王小学校	インタビュー対応	令和元年 12 月 11 日 (仁王小学校にて実施)	1	3 人
小学生 (4 年生)	インタビュー対応	令和 2 年 1 月 7 日	1	1 人
岩手大学	センター紹介	令和 2 年 2 月 14 日	1	9 人
盛岡市立生出小学校 4 年生	インタビュー対応	令和 2 年 2 月 17 日 (電話で対応)	1	1 人

③施策 30 「いわてグローバル人材育成推進協議会」事業の運営(県委託)

ア トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム・地域人材コースの実施

地域に貢献するグローバル人材を育成するため、県内大学生等の海外留学を支援した。

・派遣学生数 8 名

(派遣国：オーストラリア、アメリカ、カナダ、スウェーデン、ハンガリー)

イ グローバルキャリアフェア及び外国人を対象としたインターンシップの実施

外国人青年や留学生等のグローバル人材の県内企業への就職を支援するため、キャリアフェア及びインターンシップを実施した。

(ア) キャリアフェアの開催

- ・開催日 令和元年 11 月 30 日 (土)
- ・会場 アイーナ 5 階 国際交流センター
岩手産業文化センターアピオ
- ・内容 就職ガイダンス、企業ブース訪問、
外国人雇用に関する企業向けセミナー、相談コーナー
- ・参加企業 30 社
- ・参加者数 10 か国 42 人



(イ) インターンシップの実施

- ・実施期間 令和元年 12 月上旬～令和 2 年 2 月上旬
- ・参加企業 1 社
- ・参加者数 2 人

ウ 外国人や海外経験を有する日本人学生等と企業とのワークショップ等の開催

留学支援事業による派遣学生をはじめとする海外留学に関心の高い日本人学生並びに外国人留学生等のグローバル人材と県内企業との「つながり」の場を創出し、グローバル人材と県内企業等との相互理解促進を深める機会を提供した。

(ア) ワークショップ

- ・開催日 令和元年 7 月 7 日 (日)
- ・会場 アイーナ 702 会議室
- ・講師 日本貿易振興機構 (ジェトロ) 盛岡貿易情報センター所長

(株)柳家 代表取締役社長

- ・参加学生数 11人

(4) 企業訪問

- ・実施日 令和元年11月20日(水)
- ・訪問先 岩手県空港ターミナルビル(株)、和同産業(株)
- ・参加者数 34人

④施策31 私費外国人留学生支援奨学金支給(県補助)

私費外国人留学生に月額2万円の奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、当協会の活動をはじめ、県内各地で行われた国際交流活動や県内就職に関するフォーラム等に積極的に参画した。

- ・受給者8人 国際交流等活動実績 延べ94件
(前年度10人 国際交流等活動実績 延べ172件)

[内訳] 岩手大学大学院生5人、岩手大学学部学生3人

⑤施策32 海外研修員等のサポート(県委託)

県からの委託により、県が受け入れた海外自治体職員研修員及び海外技術研修員の研修や生活上のサポートを行った。

区分	氏名	期間	出身国	研修(内容)・留学先
海外自治体職員研修員	きょく げんほう 曲 彦芳	令和元年5月～ 令和2年4月	中国	岩手県
海外技術研修員	川村カミラみき	令和元年6月～ 令和元年11月	ブラジル	岩手県工業技術センター
海外自治体職員研修員	おう てつ 王 喆	平成30年5月～ 平成31年4月	中国	岩手県

＜管理部門＞

1 評議員会・理事会等の開催状況

評議員会、理事会、専門委員会等の開催状況は、次のとおりである。

開催日	会議名	会議の概要
令和元年 6月5日(水)	第32回理事会	決議事項 1 平成30年度事業報告及び附属明細書の承認 2 平成30年度計算書類(貸借対照表及び正味財産計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認 3 定時評議員会の招集
6月25日(火)	評議員選定委員会	評議員の選任
6月25日(火)	第10回評議員会	報告事項 1 平成30年度事業報告及び附属明細書 2 (公財)岩手県国際交流協会長期ビジョンの策定について 3 2019年度事業計画書及び収支予算書について 他
6月25日(火)	第33回理事会	決議事項 1 理事長の選任及び報酬月額の決定について 2 常務理事に選任及び報酬月額の決定並びに事務局長事務取扱いの任命 3 評議員選定委員会委員の選任について
7月19日(金)	第11回評議員会	監事の選任
11月19日(火)	第34回理事会	報告事項 1 職務の執行状況 2 資金運用の経過及び結果 3 いわてビジョン2019に掲げる施策の実施状況等 4 外国人労働者雇用実態調査 中間報告
令和2年 3月18日(水)	第35回理事会(書面表決)	議決事項 1 令和2年度事業計画及び収支予算書の作成 2 県出資等法人に係る中期経営計画書(令和2年度～令和6年度)の作成 3 広告取扱規程の一部改正

2 業務執行体制等

(1) 職員の状況

令和元年度末の事務局職員数は、常勤職員 12 名、非常勤相談員 4 名、非常勤補助員 10 名である（事務局長事務取扱役員を除く）。

(2) コンプライアンス体制及び職員研修

当協会の目的や公益財団法人の職員としての心構えや期待されていることについて、職員の意識を涵養するため理事長及び常務理事の訓示を行うとともに、外部講師による入国管理制度に関する研修を実施した。また、自治体国際化協会等、外部研修に積極的に職員を派遣した。

また、令和 2 年 3 月、外部委員 1 名を加えたコンプライアンス委員会において、令和元年度における問題事案の発生はなかった旨を確認するとともに、結果を理事会に報告した。

(3) JICA 国際協力推進員の配置

当協会と JICA（独立行政法人国際協力機構）が連携して県民の国際協力活動を促進するため、JICA 東北支部との協定により、令和元年度も協会内に JICA デスクを設置し、国際協力推進員を継続配置した。

3 寄附金及び賛助会員の状況

寄附金及び賛助会員の状況は、次のとおりである。

(1) 寄附金の受入れ

次の 40 件 3,463,000 円の寄附金を受け入れた。

① 一般寄附金

7 件 1,153,000 円

② 協賛寄附金

33 件 2,310,000 円

(2) 賛助会員の入退会

賛助会員の新規入会を促進するため、令和元年 5 月から 3 月末まで令和キャンペーンを行ったほか、年間を通じて、イベント開催時に参加者に賛助会員入会の呼びかけ等を行った結果、令和元年度の新規入会は 35 件となった。

令和元年度中の入退会の状況は、次のとおりである。

	平成31年3月末	入 会	退 会		令和2年3月末	増 減
			退会届	職権退会		
個人会員	295	30	20	16	289	△ 6
学生会員	21	5	1	5	20	△ 1
団体会員	46	0	0	1	45	△ 1
合 計	362	35	21	22	354	△ 8

令和元年度事業報告についての附属明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和2年5月

公益財団法人岩手県国際交流協会